

平成 28 年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	足柄上病院	2	三浦市	市立病院	20
-	汐見台病院	3	厚木市	市立病院	21
-	精神医療センター	4	大和市	市立病院	22
-	がんセンター	5			
-	循環器呼吸器病センター	6			
-	こども医療センター	7			
横浜市	市民病院	8			
横浜市	みなと赤十字病院	9			
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	10			
川崎市	川崎病院	11			
川崎市	井田病院	12			
川崎市	多摩病院	13			
横須賀市	市民病院	14			
横須賀市	うわまち病院	15			
平塚市	平塚市民病院	16			
藤沢市	藤沢市民病院	17			
小田原市	市立病院	18			
茅ヶ崎市	市立病院	19			

病院事業決算状況 (28 年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	足柄上病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	9,126,213	
決算規模（千円）	2,013,094,843	
標準財政規模（千円）	1,433,234,672	
財政力指数	0.90832	
経常収支比率（%）	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.4
	将来負担比率（%）	127.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	115,161			
1 経常収益	115,161			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	115,161			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	115,161			
2 経常費用	115,161			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	115,161			
(うち支払利息)	115,161	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	5,686,196			
経常収支比率	100.0		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	82.6

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	
	病院名	汐見台病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	59.4	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	59.4	71.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	11.4	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	2,013,094,843	
標準財政規模(千円)	1,433,234,672	
財政力指数	0.90832	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	127.0

施設及び業務概況等		
法適用区分		特殊診療機能
病院区分		不採算地区病院
建物面積	- m ²	指定病院の状況
診療科数	-	看護配置
許可公営企業		経営形態
DPC対象病院	-	指定管理者(利用料金制)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,815,791			
1 経常収益	4,149			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,149			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,811,642			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	72,930			
2 経常費用	72,930			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	72,930			
(うち支払利息)	4,082	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-68,781			
純損益	1,742,861			
累積欠損金	-			
経常収支比率	5.7		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	5.7		85.8	82.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	2,013,094,843	
標準財政規模(千円)	1,433,234,672	
財政力指数	0.90832	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	127.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,182			
1 経常収益	3,182			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,182			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,182			
2 経常費用	3,182			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	93.3
材料費	-	-	23.9	9.0
(うち薬品費)	-	-	12.5	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	1.1
減価償却費	-	-	9.3	12.8
経費	-	-	23.1	32.7
(うち委託料)	-	-	11.1	15.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	3,182			
(うち支払利息)	3,182	-	1.8	3.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	159,544			
経常収支比率	100.0		97.9	100.2
医業収支比率	-		88.4	67.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	33.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	51.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	33.1
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	66.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	2,013,094,843	
標準財政規模(千円)	1,433,234,672	
財政力指数	0.90832	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	127.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,592			
1 経常収益	5,592			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,592			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,592			
2 経常費用	5,592			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	55.3
材料費	-	-	23.9	25.4
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	12.0
減価償却費	-	-	9.3	8.9
経費	-	-	23.1	19.4
(うち委託料)	-	-	11.1	9.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,592			
(うち支払利息)	5,592	-	1.8	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	110,011			
経常収支比率	100.0		97.9	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	88.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器呼吸器病センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,126,213	
決算規模(千円)	2,013,094,843	
標準財政規模(千円)	1,433,234,672	
財政力指数	0.90832	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	127.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	86,822			
1 経常収益	86,822			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	86,822			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	86,822			
2 経常費用	86,822			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	59.8
材料費	-	-	23.9	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	9.1
減価償却費	-	-	9.3	9.9
経費	-	-	23.1	27.5
(うち委託料)	-	-	11.1	11.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	86,822			
(うち支払利息)	86,822	-	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,585,171			
経常収支比率	100.0		97.9	95.3
医業収支比率	-		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	神奈川県
		市町村・組合名	
		病院名	こども医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	9,126,213	
決算規模（千円）	2,013,094,843	
標準財政規模（千円）	1,433,234,672	
財政力指数	0.90832	
経常収支比率（%）	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.4
	将来負担比率（%）	127.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	173,127			
1 経常収益	173,127			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	173,127			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	173,127			
2 経常費用	173,127			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	55.3
材料費	-	-	23.9	25.4
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	12.0
減価償却費	-	-	9.3	8.9
経費	-	-	23.1	19.4
(うち委託料)	-	-	11.1	9.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	173,127			
(うち支払利息)	173,127	-	1.8	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	7,988,347			
経常収支比率	100.0		97.9	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	88.2

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横浜市
	病院名	市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	624	88.2	88.6	88.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	-	-	-
計	650	84.7	85.1	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.7	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	3,724,844	
決算規模(千円)	1,541,514,629	
標準財政規模(千円)	820,065,742	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.5
	将来負担比率(%)	160.7

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	42,124 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地
診療科数	33	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.3
修正医業収支金額(千円)	19,398,256

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,181,758			
1 経常収益	21,181,758			
(1) 医業収益	19,580,562			
入院収益	13,449,139			
外来収益	5,394,264			
診療収入計	18,843,403			
その他医業収益	737,159			
(うち他会計負担金)	182,306			
(2) 医業外収益	1,601,196			
(うち国・都道府県補助金)	65,837			
(うち他会計補助・負担金)	865,144			
(うち長期前受金戻入)	410,801			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,991,672			
2 経常費用	21,028,070			
(1) 医業費用	20,353,764			
職員給与費	9,894,112	50.5	56.1	50.8
材料費	5,229,715	26.7	23.9	27.3
(うち薬品費)	2,732,781	14.0	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,385,513	12.2	10.9	12.6
減価償却費	1,002,030	5.1	9.3	8.6
経費	4,168,816	21.3	23.1	20.7
(うち委託料)	1,699,562	8.7	11.1	11.4
研究研修費	53,247			
資産減耗費	5,844			
(2) 医業外費用	674,306			
(うち支払利息)	43,807	0.2	1.8	1.6
(3) 特別損失	963,602			
損益				
経常損益	153,688			
純損益	-809,914			
累積欠損金	4,449,440			
経常収支比率	100.7		97.9	99.3
医業収支比率	96.2		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	5.3		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	95.7		85.8	90.0

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	67,413,344
1 固定資産	60,951,987
(1) 有形固定資産	59,840,066
(2) 無形固定資産	428,690
(3) 投資その他の資産	683,231
2 流動資産	6,461,357
(1) 現金及び預金	1,766,334
(2) 未収金及び未収収益	4,477,682
(3) 貸倒引当金()	2,289
(4) 貯蔵品	196,618
3 繰延資産	-
負債合計	62,519,846
1 固定負債	51,026,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,824,789
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,201,632
(7) リース債務	-
2 流動負債	7,734,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,280,645
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	952,411
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,436,927
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,758,704
(1) 長期前受金	12,337,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,578,732
資本合計	4,893,498
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-32,623,574
(1) 資本剰余金	7,794,315
(2) 利益剰余金	-40,417,889
負債・資本合計	67,413,344
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,047,450	1,047,450
資本勘定繰入	976,746	976,746
計	2,024,196	2,024,196

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	163.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横浜市
	病院名	みなと赤十字病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	74,148 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地
診療科数	36	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	584	86.6	83.9	86.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	64.1	62.9	58.5
感染症	-	-	-	-
計	634	84.8	82.2	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.6	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,724,844	
決算規模(千円)	1,541,514,629	
標準財政規模(千円)	820,065,742	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.5
	将来負担比率(%)	160.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,758,519			
1 経常収益	2,758,519			
(1) 医業収益	61,145			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	61,145			
(うち他会計負担金)	61,145			
(2) 医業外収益	2,697,374			
(うち国・都道府県補助金)	26,612			
(うち他会計補助・負担金)	691,183			
(うち長期前受金戻入)	1,223,911			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,688,704			
2 経常費用	2,688,704			
(1) 医業費用	1,926,398			
職員給与費	-	-	56.1	50.8
材料費	-	-	23.9	27.3
(うち薬品費)	-	-	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	12.6
減価償却費	1,555,639	2544.2	9.3	8.6
経費	370,724	606.3	23.1	20.7
(うち委託料)	-	-	11.1	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	35			
(2) 医業外費用	762,306			
(うち支払利息)	641,680	1049.4	1.8	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	69,815			
純損益	69,815			
累積欠損金	12,294,031			
経常収支比率	102.6		97.9	99.3
医業収支比率	3.2		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.3		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	1230.4		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	27.3		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	74.6		85.8	90.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	67,413,344
1 固定資産	60,951,987
(1) 有形固定資産	59,840,066
(2) 無形固定資産	428,690
(3) 投資その他の資産	683,231
2 流動資産	6,461,357
(1) 現金及び預金	1,766,334
(2) 未収金及び未収収益	4,477,682
(3) 貸倒引当金()	2,289
(4) 貯蔵品	196,618
3 繰延資産	-
負債合計	62,519,846
1 固定負債	51,026,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,824,789
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,201,632
(7) リース債務	-
2 流動負債	7,734,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,280,645
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	952,411
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,436,927
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,758,704
(1) 長期前受金	12,337,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,578,732
資本合計	4,893,498
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-32,623,574
(1) 資本金剰余金	7,794,315
(2) 利益剰余金	-40,417,889
負債・資本合計	67,413,344
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	740,147	752,328
資本勘定繰入	1,218,618	1,443,739
計	1,958,765	2,196,067

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	163.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	横浜市
				病院名	脳卒中・神経脊椎センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	10	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
D P C 対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	300	81.5	82.0	77.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	81.5	82.0	77.1
平均在院日数（一般病床のみ）		31.1	31.5	32.6

設立団体の状況		
人口（人）	3,724,844	
決算規模（千円）	1,541,514,629	
標準財政規模（千円）	820,065,742	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	16.5
	将来負担比率（%）	160.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	74.7
修正医業収支金額（千円）	4,993,580

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,562,734			
1 経常収益	7,562,734			
(1) 医業収益	5,096,643			
入院収益	4,431,431			
外来収益	517,159			
診療収入計	4,948,590			
その他医業収益	148,053			
(うち他会計負担金)	103,063			
(2) 医業外収益	2,466,091			
(うち国・都道府県補助金)	637			
(うち他会計補助・負担金)	1,912,648			
(うち長期前受金戻入)	382,142			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,980,540			
2 経常費用	7,576,891			
(1) 医業費用	6,688,994			
職員給与費	3,855,760	75.7	56.1	56.5
材料費	826,959	16.2	23.9	24.1
(うち薬品費)	223,565	4.4	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	515,214	10.1	10.9	11.4
減価償却費	648,021	12.7	9.3	9.1
経費	1,340,861	26.3	23.1	21.6
(うち委託料)	851,891	16.7	11.1	10.6
研究研修費	10,875			
資産減耗費	6,518			
(2) 医業外費用	887,897			
(うち支払利息)	308,496	6.1	1.8	2.0
(3) 特別損失	403,649			
損益				
経常損益	-14,157			
純損益	-417,806			
累積欠損金	23,674,418			
経常収支比率	99.8		97.9	96.7
医業収支比率	76.2		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	26.7		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	39.5		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	26.7		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	73.2		85.8	86.1

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	67,413,344
1 固定資産	60,951,987
(1) 有形固定資産	59,840,066
(2) 無形固定資産	428,690
(3) 投資その他の資産	683,231
2 流動資産	6,461,357
(1) 現金及び預金	1,766,334
(2) 未収金及び未収収益	4,477,682
(3) 貸倒引当金（ ）	2,289
(4) 貯蔵品	196,618
3 繰延資産	-
負債合計	62,519,846
1 固定負債	51,026,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,824,789
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,201,632
(7) リース債務	-
2 流動負債	7,734,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,280,645
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	952,411
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,436,927
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,758,704
(1) 長期前受金	12,337,436
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	8,578,732
資本合計	4,893,498
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-32,623,574
(1) 資本剰余金	7,794,315
(2) 利益剰余金	-40,417,889
負債・資本合計	67,413,344
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,015,711	2,015,711
資本勘定繰入	995,666	995,666
計	3,011,377	3,011,377

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	163.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	川崎市
	病院名	川崎病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,890 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪
診療科数	44	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	663	72.3	76.1	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	60.7	59.1	69.1
感染症	12	-	-	-
計	713	70.5	73.9	73.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.5	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	606,991,762	
標準財政規模(千円)	313,794,978	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	118.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収支金額(千円)	15,634,028

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,018,915			
1 経常収益	19,414,747			
(1) 医業収益	16,704,394			
入院収益	11,196,887			
外来収益	4,171,594			
診療収入計	15,368,481			
その他医業収益	1,335,913			
(うち他会計負担金)	1,070,366			
(2) 医業外収益	2,710,353			
(うち国・都道府県補助金)	41,036			
(うち他会計補助・負担金)	1,849,310			
(うち長期前受金戻入)	388,956			
(うち資本費繰入収益)	219,539			
(3) 特別利益	604,168			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,508,441			
2 経常費用	19,370,455			
(1) 医業費用	18,462,093			
職員給与費	8,247,661	49.4	56.1	50.8
材料費	3,725,468	22.3	23.9	27.3
(うち薬品費)	1,809,754	10.8	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,800,729	10.8	10.9	12.6
減価償却費	1,114,543	6.7	9.3	8.6
経費	5,295,009	31.7	23.1	20.7
(うち委託料)	2,435,593	14.6	11.1	11.4
研究研修費	60,740			
資産減耗費	18,672			
(2) 医業外費用	908,362			
(うち支払利息)	355,064	2.1	1.8	1.6
(3) 特別損失	137,986			
損益				
経常損益	44,292			
純損益	510,474			
累積欠損金	6,411,735			
経常収支比率	100.2		97.9	99.3
医業収支比率	90.5		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	17.5		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	14.6		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	85.2		85.8	90.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	57,611,410
1 固定資産	50,531,598
(1) 有形固定資産	50,526,960
(2) 無形固定資産	4,638
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,079,812
(1) 現金及び預金	2,975,526
(2) 未収金及び未収収益	4,037,035
(3) 貸倒引当金()	79,668
(4) 貯蔵品	146,919
3 繰延資産	-
負債合計	67,330,022
1 固定負債	57,726,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,026,174
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,650,924
(7) リース債務	49,361
2 流動負債	8,219,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,524,921
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	785,144
(6) リース債務	19,691
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,731,382
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,384,003
(1) 長期前受金	9,953,569
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,569,566
資本合計	-9,718,612
1 資本金	18,825,754
2 剰余金	-25,544,366
(1) 資本金剰余金	1,292,167
(2) 利益剰余金	-26,836,533
負債・資本合計	57,611,410
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	9,718,612
資本不足額(繰延収益控除後)()	8,334,609
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,893,509	2,919,676
資本勘定繰入	1,292,912	1,292,912
計	4,186,421	4,212,588

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	川崎市
	病院名	井田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	36,071 m ²	指定病院の状況	救臨が 輪
診療科数	37	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	343	77.9	76.2	66.0
療養	-	-	-	-
結核	40	43.7	45.3	46.6
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	74.3	73.0	64.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	12.9	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	606,991,762	
標準財政規模(千円)	313,794,978	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	118.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.1
修正医業収支金額(千円)	7,294,180

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,217,548			
1 経常収益	9,187,053			
(1) 医業収益	7,585,697			
入院収益	4,627,604			
外来収益	2,449,958			
診療収入計	7,077,562			
その他医業収益	508,135			
(うち他会計負担金)	291,517			
(2) 医業外収益	1,601,356			
(うち国・都道府県補助金)	13,009			
(うち他会計補助・負担金)	1,166,687			
(うち長期前受金戻入)	65,940			
(うち資本費繰入収益)	279,710			
(3) 特別利益	30,495			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,521,478			
2 経常費用	10,500,407			
(1) 医業費用	9,976,346			
職員給与費	4,219,312	55.6	56.1	56.5
材料費	1,783,473	23.5	23.9	24.1
(うち薬品費)	980,434	12.9	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	744,140	9.8	10.9	11.4
減価償却費	1,112,567	14.7	9.3	9.1
経費	2,816,373	37.1	23.1	21.6
(うち委託料)	1,232,098	16.2	11.1	10.6
研究研修費	22,930			
資産減耗費	21,691			
(2) 医業外費用	524,061			
(うち支払利息)	251,809	3.3	1.8	2.0
(3) 特別損失	21,071			
損益				
経常損益	-1,313,354			
純損益	-1,303,930			
累積欠損金	16,848,379			
経常収支比率	87.5		97.9	96.7
医業収支比率	76.0		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	73.6		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	57,611,410
1 固定資産	50,531,598
(1) 有形固定資産	50,526,960
(2) 無形固定資産	4,638
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,079,812
(1) 現金及び預金	2,975,526
(2) 未収金及び未収収益	4,037,035
(3) 貸倒引当金()	79,668
(4) 貯蔵品	146,919
3 繰延資産	-
負債合計	67,330,022
1 固定負債	57,726,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,026,174
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,650,924
(7) リース債務	49,361
2 流動負債	8,219,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,524,921
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	785,144
(6) リース債務	19,691
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,731,382
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,384,003
(1) 長期前受金	9,953,569
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,569,566
資本合計	-9,718,612
1 資本金	18,825,754
2 剰余金	-25,544,366
(1) 資本金剰余金	1,292,167
(2) 利益剰余金	-26,836,533
負債・資本合計	57,611,410
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	9,718,612
資本不足額(繰延収益控除後)()	8,334,609

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,447,769	1,458,204
資本勘定繰入	416,377	416,377
計	1,864,146	1,874,581

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	川崎市
	病院名	多摩病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	376	79.2	81.0	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	79.2	81.0	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.8	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,475,213	
決算規模(千円)	606,991,762	
標準財政規模(千円)	313,794,978	
財政力指数	1.00	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	118.3

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	35,620 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪
診療科数	32	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.7
修正医業収支金額(千円)	665,721

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,956,419			
1 経常収益	1,944,957			
(1) 医業収益	939,902			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	939,902			
(うち他会計負担金)	274,181			
(2) 医業外収益	1,005,055			
(うち国・都道府県補助金)	1,056			
(うち他会計補助・負担金)	522,373			
(うち長期前受金戻入)	481,588			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,462			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,828,185			
2 経常費用	1,826,124			
(1) 医業費用	1,455,189			
職員給与費	21,152	2.3	56.1	56.5
材料費	-	-	23.9	24.1
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	11.4
減価償却費	760,069	80.9	9.3	9.1
経費	667,684	71.0	23.1	21.6
(うち委託料)	29,250	3.1	11.1	10.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	6,284	-	-	-
(2) 医業外費用	370,935			
(うち支払利息)	369,784	39.3	1.8	2.0
(3) 特別損失	2,061			
損益				
経常損益	118,833			
純損益	128,234			
累積欠損金	3,576,419			
経常収支比率	106.5		97.9	96.7
医業収支比率	64.6		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	84.7		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	40.7		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	62.9		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	57,611,410
1 固定資産	50,531,598
(1) 有形固定資産	50,526,960
(2) 無形固定資産	4,638
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,079,812
(1) 現金及び預金	2,975,526
(2) 未収金及び未収収益	4,037,035
(3) 貸倒引当金()	79,668
(4) 貯蔵品	146,919
3 繰延資産	-
負債合計	67,330,022
1 固定負債	57,726,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,026,174
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,650,924
(7) リース債務	49,361
2 流動負債	8,219,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,524,921
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	785,144
(6) リース債務	19,691
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,731,382
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,384,003
(1) 長期前受金	9,953,569
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,569,566
資本合計	-9,718,612
1 資本金	18,825,754
2 剰余金	-25,544,366
(1) 資本金剰余金	1,292,167
(2) 利益剰余金	-26,836,533
負債・資本合計	57,611,410
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	9,718,612
資本不足額(繰延収益控除後)()	8,334,609
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	796,554	796,554
資本勘定繰入	640,904	640,904
計	1,437,458	1,437,458

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横須賀市
	病院名	市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,943 m ²	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	476	48.4	47.6	46.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	482	47.8	47.0	45.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.7	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	406,586	
決算規模(千円)	144,294,749	
標準財政規模(千円)	81,500,774	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	100.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	49.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.6
修正医業収支金額(千円)	18,998

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	698,237			
1 経常収益	698,237			
(1) 医業収益	402,998			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	402,998			
(うち他会計負担金)	384,000			
(2) 医業外収益	295,239			
(うち国・都道府県補助金)	8,816			
(うち他会計補助・負担金)	258,000			
(うち長期前受金戻入)	13,020			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	778,265			
2 経常費用	763,497			
(1) 医業費用	722,697			
職員給与費	24,537	6.1	56.1	55.3
材料費	-	-	23.9	25.4
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	12.0
減価償却費	567,390	140.8	9.3	8.9
経費	122,332	30.4	23.1	19.4
(うち委託料)	24,174	6.0	11.1	9.2
研究研修費	-			
資産減耗費	8,438			
(2) 医業外費用	40,800			
(うち支払利息)	31,299	7.8	1.8	1.7
(3) 特別損失	14,768			
損益				
経常損益	-65,260			
純損益	-80,028			
累積欠損金	7,006,537			
経常収支比率	91.5		97.9	98.4
医業収支比率	55.8		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	91.9		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	159.3		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	91.9		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	7.4		85.8	88.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,461,239
1 固定資産	13,499,387
(1) 有形固定資産	13,495,706
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,961,852
(1) 現金及び預金	2,909,354
(2) 未収金及び未収収益	60,308
(3) 貸倒引当金()	7,823
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,949,753
1 固定負債	5,003,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,955,937
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	47,289
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,115,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	752,251
(2) その他の企業債	312,686
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,948
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	830,758
(1) 長期前受金	1,916,592
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,085,834
資本合計	9,511,486
1 資本金	11,585,956
2 剰余金	-2,074,470
(1) 資本金剰余金	3,778,071
(2) 利益剰余金	-5,852,541
負債・資本合計	16,461,239
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	686,913	642,000
資本勘定繰入	245,675	495,000
計	932,588	1,137,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	857.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	横須賀市
	病院名	うわまち病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,514 m ²	指定病院の状況	救臨 地 輪
診療科数	28	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	367	84.1	85.3	85.5
療養	50	79.6	93.4	96.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	83.5	86.3	86.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	10.7	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	406,586	
決算規模(千円)	144,294,749	
標準財政規模(千円)	81,500,774	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	100.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	49.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	4.4
修正医業収支金額(千円)	23,698

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	624,130			
1 経常収益	624,130			
(1) 医業収益	279,698			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	279,698			
(うち他会計負担金)	256,000			
(2) 医業外収益	344,432			
(うち国・都道府県補助金)	11,557			
(うち他会計補助・負担金)	137,000			
(うち長期前受金戻入)	64,704			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	576,899			
2 経常費用	576,899			
(1) 医業費用	535,570			
職員給与費	24,537	8.8	56.1	55.3
材料費	-	-	23.9	25.4
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	12.0
減価償却費	376,079	134.5	9.3	8.9
経費	133,470	47.7	23.1	19.4
(うち委託料)	27,945	10.0	11.1	9.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,484	-	-	-
(2) 医業外費用	41,329	-	-	-
(うち支払利息)	32,389	11.6	1.8	1.7
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益	経常損益	47,231		
	純損益	47,231		
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.2		97.9	98.4
医業収支比率	52.2		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	63.0		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	140.5		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	63.0		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	40.1		85.8	88.2

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,461,239
1 固定資産	13,499,387
(1) 有形固定資産	13,495,706
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,961,852
(1) 現金及び預金	2,909,354
(2) 未収金及び未収収益	60,308
(3) 貸倒引当金()	7,823
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,949,753
1 固定負債	5,003,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,955,937
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	47,289
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,115,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	752,251
(2) その他の企業債	312,686
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,948
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	830,758
(1) 長期前受金	1,916,592
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,085,834
資本合計	9,511,486
1 資本金	11,585,956
2 剰余金	-2,074,470
(1) 資本剰余金	3,778,071
(2) 利益剰余金	-5,852,541
負債・資本合計	16,461,239
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	503,528	393,000
資本勘定繰入	333,390	235,000
計	836,918	628,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	857.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	平塚市
				病院名	平塚市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,855 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	29	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	410	86.2	88.2	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	84.9	86.9	80.5
平均在院日数（一般病床のみ）		12.9	13.1	13.1

設立団体の状況		
人口（人）	258,227	
決算規模（千円）	81,021,526	
標準財政規模（千円）	48,585,126	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	2.2
	将来負担比率（%）	16.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.3
修正医業収支金額（千円）	10,312,289

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,866,416			
1 経常収益	11,707,527			
(1) 医業収益	10,958,309			
入院収益	7,336,391			
外来収益	2,688,297			
診療収入計	10,024,688			
その他医業収益	933,621			
(うち他会計負担金)	646,020			
(2) 医業外収益	749,218			
(うち国・都道府県補助金)	21,131			
(うち他会計補助・負担金)	398,990			
(うち長期前受金戻入)	87,843			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	158,889			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,623,619			
2 経常費用	12,465,832			
(1) 医業費用	11,955,921			
職員給与費	5,623,986	51.3	56.1	55.3
材料費	2,159,329	19.7	23.9	25.4
(うち薬品費)	963,455	8.8	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,195,874	10.9	10.9	12.0
減価償却費	933,743	8.5	9.3	8.9
経費	3,200,116	29.2	23.1	19.4
(うち委託料)	1,359,305	12.4	11.1	9.2
研究研修費	26,792			
資産減耗費	11,955			
(2) 医業外費用	509,911			
(うち支払利息)	153,554	1.4	1.8	1.7
(3) 特別損失	157,787			
損益				
経常損益	-758,305			
純損益	-757,203			
累積欠損金	4,751,125			
経常収支比率	93.9		97.9	98.4
医業収支比率	91.7		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	85.5		85.8	88.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	19,996,796
1 固定資産	17,266,342
(1) 有形固定資産	15,941,509
(2) 無形固定資産	309,958
(3) 投資その他の資産	1,014,875
2 流動資産	2,730,454
(1) 現金及び預金	823,544
(2) 未収金及び未収収益	1,964,043
(3) 貸倒引当金（ ）	109,489
(4) 貯蔵品	42,591
3 繰延資産	-
負債合計	18,346,898
1 固定負債	15,232,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,003,434
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,000,000
(6) 引当金	2,083,119
(7) リース債務	146,332
2 流動負債	1,817,178
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	667,605
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	356,513
(6) リース債務	53,454
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	728,197
(9) 前受金及び前受収益	1,749
3 繰延収益	1,296,835
(1) 長期前受金	2,009,312
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	712,477
資本合計	1,649,898
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-4,549,694
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,549,694
負債・資本合計	19,996,796
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,090,072	1,045,010
資本勘定繰入	633,208	163,821
計	1,723,280	1,208,831

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	1,716,823	15.2
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	43.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	藤沢市
	病院名	藤沢市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	69,957 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地
診療科数	34	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	530	87.5	87.6	85.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	536	86.6	86.6	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.3	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	423,894	
決算規模(千円)	139,883,794	
標準財政規模(千円)	82,666,711	
財政力指数	1.07	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.3
	将来負担比率(%)	25.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.0
修正医業収支金額(千円)	16,247,157

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,897,638			
1 経常収益	17,842,046			
(1) 医業収益	16,727,533			
入院収益	11,018,074			
外来収益	4,758,200			
診療収入計	15,776,274			
その他医業収益	951,259			
(うち他会計負担金)	480,376			
(2) 医業外収益	1,114,513			
(うち国・都道府県補助金)	96,305			
(うち他会計補助・負担金)	888,606			
(うち長期前受金戻入)	31,242			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	55,592			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,938,992			
2 経常費用	18,396,605			
(1) 医業費用	17,658,969			
職員給与費	8,449,978	50.5	56.1	50.8
材料費	4,301,234	25.7	23.9	27.3
(うち薬品費)	2,018,359	12.1	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,159,093	12.9	10.9	12.6
減価償却費	1,231,395	7.4	9.3	8.6
経費	3,591,883	21.5	23.1	20.7
(うち委託料)	1,894,874	11.3	11.1	11.4
研究研修費	43,156			
資産減耗費	41,323			
(2) 医業外費用	737,636			
(うち支払利息)	111,653	0.7	1.8	1.6
(3) 特別損失	542,387			
損益				
経常損益	-554,559			
純損益	-1,041,354			
累積欠損金	1,911,635			
経常収支比率	97.0		97.9	99.3
医業収支比率	94.7		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	89.5		85.8	90.0

備考:
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,466,879
1 固定資産	15,686,568
(1) 有形固定資産	14,798,494
(2) 無形固定資産	484,957
(3) 投資その他の資産	403,117
2 流動資産	6,780,311
(1) 現金及び預金	3,936,753
(2) 未収金及び未収収益	2,815,501
(3) 貸倒引当金()	25,882
(4) 貯蔵品	43,839
3 繰延資産	-
負債合計	14,744,917
1 固定負債	12,032,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,202,539
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,727,871
(7) リース債務	102,480
2 流動負債	2,089,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	248,495
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	593,235
(6) リース債務	38,875
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,139,313
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	622,529
(1) 長期前受金	1,658,809
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,036,280
資本合計	7,721,962
1 資本金	9,575,890
2 剰余金	-1,853,928
(1) 資本剰余金	57,707
(2) 利益剰余金	-1,911,635
負債・資本合計	22,466,879
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,618,888	1,368,982
資本勘定繰入	-	-
計	1,618,888	1,368,982

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	小田原市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,393 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	26	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	417	82.0	78.4	82.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	82.0	78.4	82.5
平均在院日数（一般病床のみ）		10.8	11.6	11.8

設立団体の状況		
人口（人）	194,086	
決算規模（千円）	69,040,816	
標準財政規模（千円）	37,451,482	
財政力指数	0.96	
経常収支比率（%）	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.4
	将来負担比率（%）	5.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	92.5
修正医業収支金額（千円）	11,119,524

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	12,703,875				
1 経常収益	12,703,875				
(1) 医業収益	11,334,543				
入院収益	8,015,411				
外来収益	2,979,778				
診療収入計	10,995,189				
その他医業収益	339,354				
(うち他会計負担金)	215,019				
(2) 医業外収益	1,369,332				
(うち国・都道府県補助金)	57,661				
(うち他会計補助・負担金)	1,234,981				
(うち長期前受金戻入)	10,522				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	12,565,938				
2 経常費用	12,474,021				
(1) 医業費用	12,021,659				
職員給与費	5,670,118	50.0	56.1	55.3	
材料費	2,864,159	25.3	23.9	25.4	
(うち薬品費)	1,440,620	12.7	12.5	12.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,422,474	12.5	10.9	12.0	
減価償却費	744,167	6.6	9.3	8.9	
経費	2,710,718	23.9	23.1	19.4	
(うち委託料)	1,120,947	9.9	11.1	9.2	
研究研修費	28,258				
資産減耗費	4,239				
(2) 医業外費用	452,362				
(うち支払利息)	19,576	0.2	1.8	1.7	
(3) 特別損失	91,917				
損益					
経常損益	229,854				
純損益	137,937				
累積欠損金	-				
経常収支比率	101.8		97.9	98.4	
医業収支比率	94.3		88.4	91.3	
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	10.3	
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.4	11.7	
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.4	10.5	
実質収益対経常費用比率	90.2		85.8	88.2	

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	10,060,399
1 固定資産	6,226,445
(1) 有形固定資産	6,006,745
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	219,700
2 流動資産	3,833,954
(1) 現金及び預金	1,646,067
(2) 未収金及び未収収益	2,178,335
(3) 貸倒引当金（ ）	15,469
(4) 貯蔵品	25,021
3 繰延資産	-
負債合計	3,937,326
1 固定負債	2,052,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	803,474
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	637,788
(7) リース債務	610,785
2 流動負債	1,743,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	279,214
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	295,376
(6) リース債務	220,191
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	934,966
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	141,362
(1) 長期前受金	499,703
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	358,341
資本合計	6,123,073
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	1,250,410
(1) 資本剰余金	176,813
(2) 利益剰余金	1,073,597
負債・資本合計	10,060,399
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,529,759	1,450,000
資本勘定繰入	328,564	-
計	1,858,323	1,450,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	茅ヶ崎市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,444 m ²	指定病院の状況	救臨 災地		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	401	70.9	74.6	74.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	70.9	74.6	74.9
平均在院日数（一般病床のみ）		11.5	11.7	12.0

設立団体の状況		
人口（人）	239,348	
決算規模（千円）	70,602,393	
標準財政規模（千円）	40,522,677	
財政力指数	0.95	
経常収支比率（%）	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.4
	将来負担比率（%）	44.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	82.4
修正医業収支金額（千円）	8,756,730

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,223,280			
1 経常収益	10,147,105			
(1) 医業収益	9,252,384			
入院収益	5,654,113			
外来収益	2,799,554			
診療収入計	8,453,667			
その他医業収益	798,717			
(うち他会計負担金)	495,654			
(2) 医業外収益	894,721			
(うち国・都道府県補助金)	21,788			
(うち他会計補助・負担金)	459,802			
(うち長期前受金戻入)	342,717			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	76,175			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,275,466			
2 経常費用	11,192,664			
(1) 医業費用	10,621,301			
職員給与費	5,615,694	60.7	56.1	55.3
材料費	2,138,402	23.1	23.9	25.4
(うち薬品費)	1,067,106	11.5	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,002,657	10.8	10.9	12.0
減価償却費	895,911	9.7	9.3	8.9
経費	1,939,418	21.0	23.1	19.4
(うち委託料)	1,079,327	11.7	11.1	9.2
研究研修費	23,958			
資産減耗費	7,918			
(2) 医業外費用	571,363			
(うち支払利息)	155,546	1.7	1.8	1.7
(3) 特別損失	82,802			
損益				
経常損益	-1,045,559			
純損益	-1,052,186			
累積欠損金	3,918,658			
経常収支比率	90.7		97.9	98.4
医業収支比率	87.1		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	82.1		85.8	88.2

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	16,371,645
1 固定資産	11,167,726
(1) 有形固定資産	10,369,525
(2) 無形固定資産	575,802
(3) 投資その他の資産	222,399
2 流動資産	5,203,919
(1) 現金及び預金	3,667,506
(2) 未収金及び未収収益	1,565,848
(3) 貸倒引当金（ ）	91,917
(4) 貯蔵品	62,482
3 繰延資産	-
負債合計	13,128,100
1 固定負債	10,873,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,633,329
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,792,618
(7) リース債務	447,148
2 流動負債	1,751,879
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	592,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	335,314
(6) リース債務	126,488
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	655,037
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	503,126
(1) 長期前受金	4,584,502
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	4,081,376
資本合計	3,243,545
1 資本金	5,383,112
2 剰余金	-2,139,567
(1) 資本金剰余金	1,779,091
(2) 利益剰余金	-3,918,658
負債・資本合計	16,371,645
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	941,456	955,456
資本勘定繰入	684,330	435,564
計	1,625,786	1,391,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	42.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	神奈川県
	市町村・組合名	三浦市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,393 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	136	81.6	88.6	86.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	81.6	88.6	86.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.4	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	45,289	
決算規模(千円)	16,518,140	
標準財政規模(千円)	9,856,367	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	104.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.3
	将来負担比率(%)	177.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.3
修正医業収支金額(千円)	2,167,426

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,465,524			
1 経常収益	2,465,524			
(1) 医業収益	2,317,867			
入院収益	1,350,173			
外来収益	666,619			
診療収入計	2,016,792			
その他医業収益	301,075			
(うち他会計負担金)	150,441			
(2) 医業外収益	147,657			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	93,456			
(うち長期前受金戻入)	22,069			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,512,343			
2 経常費用	2,505,020			
(1) 医業費用	2,374,936			
職員給与費	1,221,669	52.7	56.1	60.1
材料費	279,625	12.1	23.9	18.1
(うち薬品費)	130,646	5.6	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	147,990	6.4	10.9	8.1
減価償却費	183,161	7.9	9.3	10.1
経費	662,621	28.6	23.1	30.4
(うち委託料)	272,318	11.7	11.1	12.5
研究研修費	25,412			
資産減耗費	2,448			
(2) 医業外費用	130,084			
(うち支払利息)	47,521	2.1	1.8	1.9
(3) 特別損失	7,323			
損益				
経常損益	-39,496			
純損益	-46,819			
累積欠損金	741,372			
経常収支比率	98.4		97.9	96.4
医業収支比率	97.6		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	88.7		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,914,835
1 固定資産	2,950,477
(1) 有形固定資産	2,917,964
(2) 無形固定資産	443
(3) 投資その他の資産	32,070
2 流動資産	964,358
(1) 現金及び預金	373,850
(2) 未収金及び未収収益	586,079
(3) 貸倒引当金()	8,428
(4) 貯蔵品	10,326
3 繰延資産	-
負債合計	3,151,180
1 固定負債	2,492,941
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,412,133
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	80,808
(7) リース債務	-
2 流動負債	514,776
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	243,184
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,521
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	170,293
(9) 前受金及び前受収益	4,272
3 繰延収益	143,463
(1) 長期前受金	342,018
(2) 長期前受金収益化累計額()	198,555
資本合計	763,655
1 資本金	1,505,027
2 剰余金	-741,372
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-741,372
負債・資本合計	3,914,835
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,915	243,897
資本勘定繰入	127,712	130,412
計	368,627	374,309

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	厚木市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,715 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	27	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	341	76.8	80.7	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	347	76.1	79.1	80.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.2	10.1	10.3

設立団体の状況		
人口（人）	225,714	
決算規模（千円）	79,066,635	
標準財政規模（千円）	50,639,562	
財政力指数	1.14	
経常収支比率（%）	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	2.5
	将来負担比率（%）	54.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	77.3
修正医業収支金額（千円）	7,458,297

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,037,780			
1 経常収益	8,922,520			
(1) 医業収益	8,227,124			
入院収益	5,106,461			
外来収益	2,174,056			
診療収入計	7,280,517			
その他医業収益	946,607			
(うち他会計負担金)	768,827			
(2) 医業外収益	695,396			
(うち国・都道府県補助金)	24,246			
(うち他会計補助・負担金)	248,263			
(うち長期前受金戻入)	371,843			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	115,260			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,667,677			
2 経常費用	10,032,880			
(1) 医業費用	9,644,054			
職員給与費	4,440,550	54.0	56.1	56.5
材料費	1,814,551	22.1	23.9	24.1
(うち薬品費)	867,479	10.5	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	946,145	11.5	10.9	11.4
減価償却費	906,447	11.0	9.3	9.1
経費	2,355,757	28.6	23.1	21.6
(うち委託料)	1,142,266	13.9	11.1	10.6
研究研修費	20,164			
資産減耗費	106,585			
(2) 医業外費用	388,826			
(うち支払利息)	110,750	1.3	1.8	2.0
(3) 特別損失	634,797			
損益				
経常損益	-1,110,360			
純損益	-1,629,897			
累積欠損金	4,208,567			
経常収支比率	88.9		97.9	96.7
医業収支比率	85.3		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	78.8		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	22,106,740
1 固定資産	20,288,357
(1) 有形固定資産	18,888,362
(2) 無形固定資産	161,106
(3) 投資その他の資産	1,238,889
2 流動資産	1,818,383
(1) 現金及び預金	432,683
(2) 未収金及び未収収益	1,345,474
(3) 貸倒引当金（ ）	1,280
(4) 貯蔵品	9,796
3 繰延資産	-
負債合計	21,218,326
1 固定負債	18,807,849
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,661,983
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,300,000
(6) 引当金	679,758
(7) リース債務	166,108
2 流動負債	1,822,238
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	783,685
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	297,098
(6) リース債務	56,500
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	678,626
(9) 前受金及び前受収益	370
3 繰延収益	588,239
(1) 長期前受金	1,270,526
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	682,287
資本合計	888,414
1 資本金	1,734,683
2 剰余金	-846,269
(1) 資本剰余金	3,300,298
(2) 利益剰余金	-4,146,567
負債・資本合計	22,106,740
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,761,418	1,017,090
資本勘定繰入	407,654	407,654
計	2,169,072	1,424,744

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	51.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	神奈川県
				市町村・組合名	大和市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m ²	指定病院の状況	救臨が 災 輪		
診療科数	28	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	403	74.3	80.5	81.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	74.3	80.5	81.0
平均在院日数（一般病床のみ）		11.0	11.4	12.2

設立団体の状況		
人口（人）	232,922	
決算規模（千円）	71,734,094	
標準財政規模（千円）	40,984,423	
財政力指数	0.97	
経常収支比率（%）	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.7
	将来負担比率（%）	28.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	88.5
修正医業収支金額（千円）	9,620,090

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,282,635			
1 経常収益	11,282,458			
(1) 医業収益	9,953,230			
入院収益	5,876,618			
外来収益	3,313,906			
診療収入計	9,190,524			
その他医業収益	762,706			
(うち他会計負担金)	333,140			
(2) 医業外収益	1,329,228			
(うち国・都道府県補助金)	17,893			
(うち他会計補助・負担金)	1,019,803			
(うち長期前受金戻入)	193,216			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	177			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,485,066			
2 経常費用	11,424,869			
(1) 医業費用	10,864,432			
職員給与費	5,160,763	51.9	56.1	55.3
材料費	2,501,780	25.1	23.9	25.4
(うち薬品費)	1,264,580	12.7	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,152,874	11.6	10.9	12.0
減価償却費	556,544	5.6	9.3	8.9
経費	2,598,829	26.1	23.1	19.4
(うち委託料)	883,941	8.9	11.1	9.2
研究研修費	21,361			
資産減耗費	25,155			
(2) 医業外費用	560,437			
(うち支払利息)	159,961	1.6	1.8	1.7
(3) 特別損失	60,197			
損益				
経常損益	-142,411			
純損益	-202,431			
累積欠損金	6,479,534			
経常収支比率	98.8		97.9	98.4
医業収支比率	91.6		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	86.9		85.8	88.2

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,892,425
1 固定資産	8,596,487
(1) 有形固定資産	8,133,763
(2) 無形固定資産	243,643
(3) 投資その他の資産	219,081
2 流動資産	3,295,938
(1) 現金及び預金	1,746,437
(2) 未収金及び未収収益	1,533,364
(3) 貸倒引当金（ ）	7,170
(4) 貯蔵品	23,258
3 繰延資産	-
負債合計	9,763,139
1 固定負債	5,541,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,925,074
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,616,447
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,042,503
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	625,369
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	337,277
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,079,187
(9) 前受金及び前受収益	170
3 繰延収益	2,179,115
(1) 長期前受金	6,157,453
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,978,338
資本合計	2,129,286
1 資本金	3,836,194
2 剰余金	-1,706,908
(1) 資本金剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-6,479,534
負債・資本合計	11,892,425
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,326,329	1,352,943
資本勘定繰入	532,954	-
計	1,859,283	1,352,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	65.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。